

学年主任のひとりごと その1

～ 私はこんなことをつぶやくはずだった ～

「ピンチと思うな。チャンスと思え」とは私の好きな言葉の一つです。今回の休校は、入学以来の生活を見直す好機です。あなたならこれまでの軌（キャリア）を振り返り、自分自身の長所が見つかるはずですが。そのポイントは「中学生ではなく、中等教育学校生になっている」かどうかです。以下に振り返りポイントを示しておきましょう。

① 時間を守る

登校しているときと同じ時間通りに生活しましょう。そして「**時間割通りに勉強する**」ことです。チャイムはなりませんが、嫌いな教科も50分なら耐えられるでしょう。では、たとえば音楽はどうするのか。好きな楽曲を聴くのです。体育はどうでしょう。筋トレしますか。私は苦手ですが。あなたなら、自分で創意工夫すると意外とその教科が楽しくなります。やっではいけないのは、たとえば1週間、英語を勉強しないということです。なぜならいくらなんでも1週間、英語を読まなければ、もう読めないでしょう。言語活動は継続に勝るものはありません。

② 環境を整える

昨日のHPを見ましたか。1年部の先生方が職員室の掃除を行っています。あたりまえのことですが、環境を整えることは大人でも大切です。私はあなたに何度か「**トイレは学校の顔です**」という話をしましたね。県内外の学校を訪問したとき、私は必ずトイレを訪ねます。それも生徒用のトイレです。すると授業や生徒を見なくてもだいたいその学校のことわかります。同じことはレストランでも同じです。トイレのきれいなレストランは間違いなくおいしい。これは私が得た教訓です。そこで家のトイレ掃除を試してみてください。やってみるとトイレ掃除は楽です。することが決まっています。つまり「**掃除と勉強は比例する**」これもあなたの耳にはたこです。

③ 少年式

「少年」とは「わかきとし」と訓読します。「すくないとし」ではありません。つまり成人です。私見ですがその根拠は『論語』にあると考えています。その為政篇に「**吾十有五而志于学**」（私は十五歳で学問に志した）とあります。この時代の「学」もよく生きるための手段です。私は「学」を「教養」と訳します。つまり教養を身につけようとし始めたのが十五歳である。したがって「志于学」ことこそが成人であるという考えです。あなたに「**本を読むのが大人、読まないのが子ども**」と言いつづけた出典はここにあります。その東洋思想が日本に伝播して、「初冠」「髪上げ」「裳着」などの貴族の成人の儀式となり、武士がそれを真似て「元服」とした。これが私の仮説です。この場合、十五歳は数え年です。すなわちあなたと同じ年齢なのです。少年式を迎えたということは大人であるということです。保護者に感謝しましょう。

④アチーブメントテスト

高校入試に変わるものです。3年生の1月にあります。あと1年です。前期課程の内容が理解できているかどうかを確認するテストです。前期課程の5教科が対象です。

従来、このテストの結果で、習熟度の低い生徒には2ヶ月間、特別な個別指導を行っていましたが、しかしそれが効果的でない。そこで変更を議論しました。その結果、後期課程に進んだ4年生のときに1年間をかけて、義務教育の課程の学びなおしを行うことになりました。その反対に、前期課程の内容を80%理解している生徒は、40人の枠で特別なクラスを作ります。俗にいう「選抜クラス」です。この変更は「選抜クラス」を作ることが目的ではありません。「学びなおし」が目的です。

つまり、2年生で基礎期は終わり、3年生からは充実期です。中等教育学校のよさはこの充実期の過ごし方にあります。

11月家庭学習時間調査（ふだんの家庭学習時間 平均）

	国語	数学	英語	理科	社会	その他	合計
16期生	37	24	44	20	17	11	153
15期生	26	32	58	11	12	12	151
14期生	29	38	44	17	16	15	159

こんなに勉強している14歳はいません。ところがこれが、定期考査や学力推移調査に反映しているかという疑問です。

⑤ 第2回学力推移調査

そこで10月に行われた学力推移調査を見てみましょう。一番大切なのは得点です。「**300点満点で200点を超えているか**」です。今後、君たちが向かう入学試験は全国大会です。点数を大切にしてほしいと思います。

でももっと大切にしてほしいのは学び直しです。「**模試は過去のもの**」結果を一喜一憂しても過去は変わりません。未来を変えていきましょう。答案を返却します。訂正ノートを作りましょう。「**模試ほどよい問題集はありません**」

ではあなたは何点取れていますか。中等教育学校のテストは80点が満点と考えています。3教科合計で240点あると東京大学・京都大学のレベルです。210点で難関大学レベルです。難関大学とは？旧帝国大学と一橋大学、東京工業大学、神戸大学です。180点あると広島大学、150点で愛媛大学レベルです。希望が出てきましたね。ベネッセのテストは全国平均が60点をめざして作成しています。ちなみに今回は、

全国平均は、国語 49.6 数学 45.7 英語 55.4

校内平均は、国語 53.6 数学 53.4 英語 62.2 です。

特に英語がんばっています。表の家庭学習時間調査のとおりです。「**英語ができれば大学にいけます**」だいたい「**1分1点**」です。国語・数学・英語は60分で60点をめざしましょう。次の学力推移調査は4月です。これからの6か月間が未来を変えます。

進学校の生徒としてはすべての教科をがんばってほしいと思います。得意な教科を伸ばしていきましょう。文系・理系と言っているのは日本人だけです。例えば建築は、世界的には芸術学部です。工学部ではありません。医者くらいかな。看護師はどちらでもありません。つまり、数学のできる文系と国語のできる理系がいるのが、進学校の形です。好きな教科をみつめて、自主的に学習していきましょう。

⑥「勉強するのはよく生きるためです」

将来の自分のためではなく、今の自分のために勉強するのはです。そのためにも「授業で勝負」です。ジョブチャレンジと学力推移調査はアチーブメントテストにつながります。要するに「総合的な人間力」を身につけることです。ぜんぶする。**スーパーマンになれ。走れ！16期生。これが「真の勇者だ」**

最後にあなたが県西の生徒になっているかどうか、1年生最初の学年集会で配布した7つの誓い（①～⑦）についてチェックしてみましょう。

①時間を守る

- (1)「遅刻をしない。提出物の締め切りを守る」
2学期になって欠席が増えましたが、遅刻はほとんどありません。
- (2)「8:15 には教室にいる」
8:20からの朝の読書に備えるためです。
冬になって守られていない教室があります。

②環境を整える

- (1)「机やロッカーの中を整え、教室環境を整備する」
- (2)「掃除と勉強は比例する」「トイレは学校の顔です」

③リーダーシップとフォロワーシップ

クラスの委員や係など、言われたことだけでなく、創意工夫した言動がありましたか。

④「ピンチと思うな。チャンスと思え」

人は失敗をする。失敗した後でどうするかで人の評価は分かります。でも「このくらい大丈夫だろう」はすべてだめです。小学生とは違います。「ごめんなさい」ではすみません。

⑤「中学生ではありません。中等教育学校生です」

本校は「友達から学ぶことができる場所」です。
授業は「ダイヤモンドの原石の切磋琢磨」で成り立っています。

⑥「勉強のできる人」ではなく「勉強する人」をめざせ。

予習よりも復習に力を入れてテストを乗り切りましょう。
家庭学習時間を充実させましょう。

⑦「勉強するのはよく生きるためです」

将来の自分のためではなく、今の自分のために勉強するのはです。そのためにも「授業で勝負」です。